



た の お か て つ い ち

## 田ノ岡 鉄一 氏

生年月日 大正 11 年 12 月 20 日生

住 所 田辺市芳養町

大正 11 年 (1922 年) 12 月 20 日、日高郡龍神村 (現田辺市龍神村東) に生まれる。和歌山県下における数少ない木版画家として著名である。

日本の版画は、世界によく知られている。もちろん浮世絵としての版画であり、江戸時代の中期から鈴木春信、喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川広重らによって築かれた色彩木版の芸術は、まさしく世界にまれな水準の高さと独自性に達していた。

氏は、示現会に会友として一時期籍を置き水彩画の道を歩むが、日本版画の持つ素朴さの中に深みのある情趣に次第に心をひかれていった。そして、その伝統に学び、受け継ぎ、それを広げていくべく昭和 47 年 (1972 年) 頃から馬淵聖画伯 (現 (昭和 59 年当時) 日本版画会 (以下、「日版会」) 会長) に師事し、本格的に木版画創作の道へと入る。その作風は、郷土の身近な風物を画題とし、精緻で力強い。また、時には版画特有のやさしい素朴な美しさを表現し、その深み、味わいのある作品は鑑賞する多くの人々に深い感銘を与えている。

中でも、屋根風景を画題にした創作が多く、「風雪にさらされ、古く年老いた日本の屋根。そこには働く瓦師の智恵と苦勞があり、また瓦一枚一枚には各々異なった表情が生きている。そこに日本の美を感じる。」と語る氏の風景画には定評がある。

江戸時代に発展した錦絵 (多色刷版画、浮世絵版画) は、絵師、彫師それに摺師など多数の専門師の分業制作によって完成され、今に残されている。それほどに一枚の版画を制作するまで、自画、自刻、自摺と、その作業は時を要し、まことに複雑困難なものがある。

氏は、これまでに日本美術展覧会第二科において入選 7 回、日版会新人賞及び日版会賞の受賞をはじめ、光風会展、日版会展、県美術展覧会 (招待出品) 等々に毎回出展し、制作数約 100 点を数え、いずれも力作ぞろいである。

作品「高山寺」は、昭和 56 年 (1981 年) 東京都美術館で開催された第 22 回日版会の案内状挿絵に採用されているほか、昭和 56 年 (1981 年) 田辺郵便局発行の切手帳表紙及び同年 2 月発売の記念葉書にも「高山寺」「扇ヶ浜夕陽」及び「高雄曙光」が挿絵として採用されている。

一方、そのような創作活動のかたわら、昭和 57 年 (1982 年) 度には寸暇を割いて公民館において版画講座を開催し講師を務め、さらに昭和 58 年 (1983 年) 4 月には田辺版画同好会を結成し、主宰者として活躍するなど後進の育成に励んでいる。なお、本年 (昭和 59 年当時) の第 25 回日版会展に同好会から 9 名が出品し、全員が入賞、入

## 第 15 回 (昭和 59 年)

選を果たした。

また昭和 59 年 (1984 年) 6 月、市内で個展を開催し 60 点の作品を発表した。

### (略 歴)

昭和 17 年 (1942 年) 3 月	和歌山県師範学校卒業
昭和 17 年 (1942 年) 4 月	上山路村立東国民学校訓導
昭和 22 年 (1947 年) 4 月	上山路村立上山路中学校教諭
昭和 27 年 (1952 年) 4 月	田辺市立田辺第一小学校教諭
昭和 35 年 (1960 年) 4 月	西牟婁地方教育事務所指導主事
昭和 37 年 (1962 年) 4 月	上富田町立岩田小学校校長 西牟婁地方美育研究会会長
昭和 43 年 (1968 年) 4 月	田辺市立三栖中学校校長
昭和 48 年 (1973 年) 4 月	田辺市立新庄小学校校長
昭和 49 年 (1974 年) 4 月	西牟婁地方美育研究会会長
昭和 52 年 (1977 年) 4 月	田辺市立新庄第二小学校校長
昭和 54 年 (1979 年) 4 月	田辺市立上芳養小学校校長
昭和 56 年 (1981 年) 8 月	日版会審査員 (以後、毎回連続して務める。)
昭和 57 年 (1982 年) 4 月	田辺市万呂公民館版画講座講師 田辺版画同好会結成、主宰
昭和 58 年 (1983 年) 4 月	日版会会務委員 田辺美術協会副会長
昭和 59 年 (1984 年) 4 月	和歌山県美術家協会理事 田辺市美術展覧会運営委員会常任委員及び審査員
その他	光風会会員、日版会会員及び会務委員、和歌山県美術家協会理事、 田辺美術協会副会長、田辺市美術展覧会運営委員会常任委員及び審 査員、田辺版画同好会主宰

### (受賞歴等)

昭和 48 年 (1973 年) 8 月	第 14 回日版会展初出品 新人賞受賞
昭和 49 年 (1974 年) 4 月	第 60 回光風会展初出品
昭和 49 年 (1974 年) 8 月	日版会会友に推挙される。以後、現在まで連続出品
昭和 49 年 (1974 年) 10 月	第 6 回日本美術展覧会初出品 入選、以後 7 回入選
昭和 50 年 (1975 年) 8 月	日版会会員に推挙される。
昭和 51 年 (1976 年) 4 月	光風会会友に推挙される。以後、現在まで連続出品
昭和 52 年 (1977 年) 8 月	第 18 回日版会賞受賞
昭和 58 年 (1983 年) 4 月	光風会会員に推挙される。